

地方連合音楽委員会ネットワーク

地方連合音楽委員会の働きをご紹介するネットワーク、今回は北九州地方連合教会音楽委員会企画「礼拝音楽研修会」をご紹介します。

宣教部教会音楽室の講師派遣制度（『協力伝道便利帳2008』p.16参照）を利用、前年度に引き続き、「全国礼拝音楽研修会」での学びの流れを生かし、「礼拝音楽」に拘った「礼拝音楽研修会」が続けられています。

《当日プログラム》

2012年7月16日（月・祝）10：00～15：30 於：シオン山教会

10：30～12：00 基調講演「賛美、つなぐ働きとして」

（講師：江原美歌子・相模中央教会音楽主事/連盟教会音楽室長）

12：00～12：50 昼食

12：50～14：50 分科会

●聖歌隊： 江原 美歌子

●ピアノ： 美登 恭子(高須)

●こどもクラス： 坂田 晶子(下関)、西野 修平(北九州)

15：00～15：30 派遣礼拝（平和を祈る 賛美礼拝）

北九州地方連合教会音楽委員会企画 礼拝音楽研修会 報告

美登恭子（高須／分科会講師）

去る2012年7月16日（月・休）、北九州地方連合では講師派遣制度を使って江原美歌子連盟教会音楽室長をお迎えし礼拝音楽研修会が行われました。

一昨年夏に天城で行われた連盟の礼拝音楽研修会后、北九州からの参加者が少なかった事もあり、その報告も兼ねて敢えて「礼拝音楽」に拘った研修会を昨年行い、今回もその流れの中で計画されました。

午前中は、「賛美、つなぐ働きとして」と題しての基調講演、そして並行して託児を兼ねた小学生以下を対象とした子どもクラスが行われました。

（子どもクラス担当：坂田晶子姉（下関）、西野修平兄（北九州））

基調講演では、なぜ今「礼拝」研修なのかから始まり、会衆賛美の大切さや教会音楽奉仕には、会衆賛美を通して一人残らず当たっていることへと話が進んでいきました。

また、つなぐ働きとしての音楽によってこれまでの歩みと未来に、教会に集う人々の間に、教会間に、また世にある教会としてそれぞれに広がりが出ることを学

びました。

とても暑い日に熱い思いを持ってのお話しにエアコンのない会場は益々熱くなっていきましたが、礼拝において「賛美」がつなぐ働きについてのお話しでは、『新生讚美歌』をたくさん紹介して下さい、共に賛美をしながらの、ぼ～っとする暇もない時となりました。

午後は、聖歌隊研修、礼拝奏楽者としてのピアノクラス、そして引き続き子どもクラスの分科会が行われ、どのクラスでも、み言葉（歌詞）の大切さを踏まえてどうすべきかを学びました。

聖歌隊のクラスは江原先生が担当して下さい、身体を楽にして声を出す方法（体操）から始まりました。

研修会後のアンケートでも多くの方が「不思議と声がよく出た」とか「いつもなかなか出ない高音が出た」などと書かれ、私の教会では早速次の週の聖歌隊練習時に参加できなかった方にも紹介してもらいました。

「うつむいた顔を上げて」「天の父」「平和の祈り」の3曲を通して、み言葉（歌詞）を共に共有し、それぞれの音やハーモニーをつむぎ出していきました。

ピアノのクラスは美登が担当させていただきましたが、礼拝奏楽奉仕者としての心得を中心にお話しし、後半は今やれる形で会衆賛美の伴奏としてのピアノを弾いていただきました。ほとんどの方が歌詞の意味を考えてアレンジをする段階ではなく、まずは楽譜通りに弾くことが基本と言うことと、全音符など長くのばす音符の時に楽譜の中の音を使ってどう音を加えるかをお話ししました。

また、私が関わらせていただいたこともあって、新生讚美歌の『やさしく弾ける伴奏譜』の紹介・販売を全国に先駆けてしましたが、新生讚美歌の楽譜からかなり音を減らした楽譜に興味津々。用意していた部数は完売となりましたが、少しでも自信をもって、楽しんでご奉仕にあたっていただければと願っています。

最後には、参加者全員で江原先生がコーディネートしてくださった「平和を祈る賛美礼拝」を捧げました。

聖歌隊の賛美、子どもたちの賛美などそれぞれの分科会での成果を捧げる時でもあり、特に子どもたちのアンクルンという楽器を使っての賛美や、祈りと聖書と賛美のみで進められていく「賛美礼拝」はなかなか体験する機会がなかったこともあり、礼拝の広がりを感じられた時でもあったと思います。

また、この研修会での合同聖歌隊をきっかけに「連合聖歌隊（指導：田中秀一兄（シオン山）」が結成され、連合の諸集会での賛美に用いられることを願い祈りつつ毎月第3土曜日にシオン山教会で練習が始まっていることは、まさしく賛美の繋がりが広がりが示された出来事ではないでしょうか。そして、この聖歌隊が連合内に広がっていくことを願っています。感謝。

平和を祈る 賛美礼拝

司 式 高屋 和子 (飯塚シオン)
奏 楽 美登 恭子 (高須)
聖歌隊伴奏 濱本 栄子 (若松)

～主よおいでください～

前 奏 「クムバヤ」 (主よおいでください)
こどもによるアンクルン演奏

聖 書 ヨハネの黙示録 22章 20節
『以上すべてを証しする方が、言われる。
「然り、わたしはすぐに来る。」アーメン
主イエスよ、来てください。』

賛 美 新生讃美歌249番 「主よおいでください」 1-4節 リーダーと会衆

祈 り 司式者

賛 美 新生讃美歌249番 「主よおいでください」 5節 リーダーと会衆

賛 美 「みどりごイエス」 江原 美歌子
～ キリストが生まれました わたしたちのために ～

～キリストの平和～

聖 書 イザヤ書 53節 1-5節 朗読者

賛 美 「キリストの平和」 こどもクラス

～感謝と応答～

献金感謝の祈り
献 金

賛 美 新生讃美歌447番 「天の父」 1, 2, 間奏, 3節 会衆

賛 美 「平和の祈り」 合同聖歌隊
～ 平和の道具となさせてください ～

祝福派遣 久保田 理 牧師

後 奏